

正誤表

雑誌「産婦人科の実際」第73巻1号(2024年1月号)に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2024年3月

金原出版株式会社

記

頁

10,11

訂正箇所

表 1 内の薬剤名，妊娠初期の安全性，および注釈

誤

表 1 妊娠中の抗菌薬安全性

薬剤名		安全性		
		妊娠初期	妊娠中期	妊娠後期
ペニシリン系薬	ペニシリン G	可	可	可
	アモキシシリン， アンピシリン	可	可	可
	アンピシリン/スルバクタム， アモキシシリン/クラブラン産	可	可	可
	ピペラシリン	可	可	可
	ピペラシリン/タゾバクタム	可	可	可
	メトロニダゾール [△]	禁	可	可
	ST 合剤 ^{***}	禁	可	可
テトラサイクリン系	ミノサイクリン	禁	禁	禁

可：妊娠中に使用可能，有：有益性が上回る場合のみ使用可能，禁：使用禁忌
○：第一選択薬として使用可能，△：有効性はあるが○の抗菌薬を優先して使用，×：有効性なし
*経腔的投与は極力控える
**経腔的投与は極力控える
***葉酸の併用を検討
ESBL：extended-spectrum β-lactamase

正

表 1 妊娠中の抗菌薬安全性

薬剤名		安全性		
		妊娠初期	妊娠中期	妊娠後期
ペニシリン系薬	ペニシリン G	可	可	可
	アモキシシリン， アンピシリン	可	可	可
	アンピシリン/スルバクタム， アモキシシリン/クラブラン酸	可	可	可
	ピペラシリン	可	可	可
	ピペラシリン/タゾバクタム	可	可	可
	メトロニダゾール ^{**}	有	可	可
	ST 合剤 ^{***}	禁	可	可
テトラサイクリン系	ミノサイクリン	禁	禁	禁

可：妊娠中に使用可能，有：有益性が上回る場合のみ使用可能，禁：使用禁忌
○：第一選択薬として使用可能，△：有効性はあるが○の抗菌薬を優先して使用，×：有効性なし
*経腔的投与は極力控える
**妊娠初期の内服投与は禁忌であるが，経腔的投与は有益性が上回る場合のみ可
***葉酸の併用を検討
ESBL：extended-spectrum β-lactamase

以上